

- 問1 南アメリカ大陸の都市マナオスの気候統計によると、月平均気温は年間を通じて約27～28度とほぼ一定で、降水量は1月から4月にかけて毎月200mmを超えています。最も雨が少ない8月頃でも50mm以上の降水があるこの都市が属する気候区として正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 地中海性気候 2. 熱帯雨林気候 3. サバナ気候 4. 温暖湿潤気候
- 問2 オーストラリアでは茶の生産はあまり行われていませんが、日常生活の中で紅茶を好んで飲む文化が広く定着しています。このように、オーストラリアの食文化に大きな影響を与え、かつてこの地を植民地として支配していた国はどこですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. フランス 2. オランダ 3. アメリカ合衆国 4. イギリス
- 問3 1965年から2015年にかけてのオーストラリアの輸出統計では、輸出総額が約30億ドルから約1880億ドルへと大幅に増加しました。この期間における輸出品目の構成の変化について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 輸出総額が拡大する中で、羊毛や小麦などの農産物中心の構成から、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源中心の構成へと変化した。
2. 輸出総額は大幅に増加したが、石炭の需要が世界的に低迷したため、鉱産資源の輸出割合は1965年よりも低下した。
3. 輸出総額は大幅に増加したが、輸出全体に占める羊毛の割合は一貫して最も高い数値を維持している。
4. 輸出総額が拡大する中で、鉄鉱石などの鉱産資源中心の構成から、羊毛や小麦などの農産物中心の構成へと変化した。
- 問4 オーストラリアの貿易相手国の変遷をまとめた統計によると、1960年代には主要な相手国であったイギリスの割合が大きく減少する一方で、近年では日本や中国などのアジア諸国の割合が極めて高くなっています。このようなオーストラリアの国際関係の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国との貿易を維持するため、アジア諸国からの農産物の輸入を厳しく制限している。
2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的な結びつきをより強める方針に転換した。
3. 自国の工業製品を輸出することを目的として、欧米諸国とのみ自由貿易協定を結んでいる。
4. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきや人的交流を重視する姿勢を強めている。
- 問5 ニュージーランドでは、ラグビーのナショナルチームが試合前に先住民の伝統的な踊りである「ハカ」を披露することが恒例となっています。このような取り組みが行われている背景にある、ニュージーランドの社会的な姿勢や多文化共生のあり方として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. イギリスからの移民が持ち込んだラグビーを、先住民の文化を完全に排除して発展させるための比較対象としている。
2. 隣国であるオーストラリアの先住民の文化を、スポーツを盛り上げるための演出として試験的に導入している。
3. 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。
4. 古代エジプト文明から伝わったとされる儀式を、スポーツの勝利を願うための独自の宗教儀礼へと作り替えた。
- 問6 南アメリカのアンデス山脈において、標高3000mを超える高地で行われている主な土地利用の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天然ゴムの採取と、焼畑によるトウモロコシ栽培
2. 稲作と、輸出用としての茶の栽培
3. サトウキビの大規模な栽培と、牛の放牧
4. リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培
- 問7 南アメリカ大陸で最大の面積を持ち、世界全体の約6.3%にあたる約852万km²の国土を有する国について、その資源や産業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。
2. 世界最大の国土面積を持ち、原油や天然ガスなどのエネルギー資源の輸出が経済の大きな柱となっている。
3. 広大な乾燥帯の土地を活用した羊毛の生産が盛んであり、鉄鉱石や石炭の産出量は多いがオセアニアに位置する。
4. 広大な国土面積を持ちながら、鉄鉱石の産出とともに近年はIT産業の発展が著しい南アジアの国である。
- 問8 ニュージーランドのウェリントンは南半球に位置し、西岸海洋性気候に属しています。この都市の雨温図に見られる気温と降水量の特徴として、正しい記述はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 年間を通して気温の変化が小さく、降水量は一年中非常に少ない
2. 1月頃に気温が低くなり、冬にあたる時期に降水量が多くなる
3. 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる
4. 7月頃に気温が高くなり、夏にあたる時期に乾燥する
- 問9 南アメリカ大陸は、赤道に近い北部から中部にかけては熱帯が広く分布していますが、アルゼンチンなどの南部に見られる、比較的温暖で四季の変化がはっきりと見られる気候帯を何と呼ぶか、答えなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 寒帯 2. 乾燥帯 3. 温帯 4. 熱帯
- 問10 ボリビアのウユニ塩湖などで採取される「リチウム」が、現代社会においてその重要性を増している理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. プラスチック製品の原料として石油に代わる安価な代替素材として、化学工業の分野で広く活用されるようになったため。
2. 鉄鉱石を精錬して鋼鉄を作る際に、石炭の代わりとなる燃料として利用されることが一般的になったため。
3. 情報通信技術の発展に伴い、光ファイバーのケーブルを製造するための主原料として大量に消費されるようになったため。
4. 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。
- 問11 オーストラリアにおいて、1970年代にそれまでの白人優先の移民政策が廃止され、多文化社会へと舵を切った背景を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 先住民であるマオリによる激しい権利拡大運動が起こり、白人だけの政治体制を維持することが国際的に困難になったため。
2. イギリスを中心としたヨーロッパ諸国からの移民が急増したことで、国内の白人比率が過剰になり、人口バランスを調整する必要が生じたため。
3. 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきが強まり、貿易や労働力の面でアジアからの移民を受け入れる必要性が高まったため。
4. 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟するために、加盟条件である「人種差別の撤廃」と「公用語の多様化」を受け入れる必要があったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 熱帯雨林気候	マナオスは赤道付近に位置しており、データに見られる「年間を通して高温」「明確な乾季がなく、年中降水がある」という特徴は、熱帯雨林気候の典型的な性質です。サバナ気候も熱帯に属しますが、こちらは雨季と乾季が非常にはっきりと分かれるという違いがあります。
問2	答え 4 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となった歴史があり、その過程で多くのイギリス系移民が移り住みました。そのため、言語（英語）や政治制度だけでなく、紅茶を飲む習慣やスポーツ（クリケットなど）といった生活文化の面でも、宗主国であるイギリスの影響を強く受けています。
問3	答え 1 輸出総額が拡大する中で、羊毛や小麦などの農産物中心の構成から、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源中心の構成へと変化した。	1965年時点では、輸出総額に占める割合は羊毛が29.3%、小麦が12.7%と農産物が上位を占めていました。しかし、2015年には鉄鉱石が19.6%、石炭が15.2%となり、鉱産資源が主要な輸出品目となっています。この50年間で、オーストラリアの経済構造は農産物依存から、豊富な地下資源を活用した鉱産資源依存へと大きくシフトしました。
問4	答え 4 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきや人的交流を重視する姿勢を強めている。	オーストラリアはかつてイギリスとの関係を重視していましたが、1970年代以降、地理的に近いアジア諸国との関係を深めてきました。現在では中国や日本が最大の貿易相手国となっており、石炭や鉄鉱石などの鉱産資源を輸出する一方で、アジアから工業製品を輸入する補完的な関係が築かれています。
問5	答え 3 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。	ニュージーランドでは、先住民マオリの権利や文化を尊重する政策が進められており、マオリ語を公用語の一つに指定するなど、多文化社会の構築を目指しています。ラグビーの代表チームがハカを踊ることは、マオリの伝統をニュージーランド国民共通の財産として尊重し、その精神を継承しようとする強い姿勢の表れです。
問6	答え 4 リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培	アンデス高地は標高が高いために気温が低く、寒冷な気候条件となっています。このような環境に適応するため、高地では寒さに強い家畜であるリャマやアルパカの放牧が行われ、食料としては低温でも育つじゃがいもが主に栽培されています。サトウキビや天然ゴムは低地の熱帯気候に適した作物であるため、高地での栽培には適しません。
問7	答え 1 鉄鉱石の生産量が世界全体の約3分の1を占めるなど、豊富な地下資源を背景に輸出を伸ばしている。	ブラジルは南アメリカ大陸で最大の面積を誇る国であり、その広大な国土には豊富な鉱物資源が眠っています。特に鉄鉱石の産出量は世界シェアの34.7%に達するなど、世界有数の供給源となっています。他の選択肢にあるロシア（世界最大の面積）、インド（南アジア）、オーストラリア（オセアニア）も広大な国土や資源を持ちますが、南アメリカ大陸という位置条件と鉄鉱石の圧倒的なシェアから、ブラジルの特徴と判断できます。
問8	答え 3 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる	ニュージーランドは南半球に位置するため、北半球の日本とは季節が逆転し、1月頃が夏（気温が高い）、7月頃が冬（気温が低い）となります。また、西岸海洋性気候の特徴として、偏西風の影響により年間を通して降水量が安定しており、地中海性気候のように極端に乾燥する季節はありません。
問9	答え 3 温帯	南アメリカ大陸は低緯度（赤道付近）から高緯度まで南北に長く伸びているため、気候が多様です。アルゼンチンの周辺などの南部地域は中緯度に位置し、日本と同じように四季の変化がある温帯の気候が見られます。これは、アマゾン盆地などの熱帯地域とは対照的な特徴です。
問10	答え 4 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。	リチウムはリチウムイオン電池（二次電池）の主原料であり、近年のスマートフォンやノートパソコンの普及、さらには脱炭素社会に向けた電気自動車（EV）へのシフトによって、その希少価値と需要が世界的に急増しています。ボリビアは世界有数のリチウム埋蔵量を誇るため、銀などの伝統的な鉱物資源に代わる新たな国家経済の柱として期待されています。
問11	答え 3 地理的に近いアジア諸国との経済的な結びつきが強まり、貿易や労働力の面でアジアからの移民を受け入れる必要性が高まったため。	オーストラリアが政策を転換した最大の理由は、経済構造の変化です。かつては宗主国であるイギリスとの貿易が中心でしたが、日本や中国、東南アジアなど、地理的に近いアジア諸国が主要な貿易相手国となったことで、それら諸国との友好関係や経済連携を深めるために、差別的な白豪主義を廃止し多文化社会へと移行する必要性がありました。なお、オーストラリアはASEANの加盟国ではありません。